

医療トピックス

どこが違う？(6)

自家移植と同種移植 - 悪性リンパ腫(1)

東区・紫南支部

(今村病院分院・細胞治療部長) 武元 良整

1991-2001年の全国統計(文献1)では、悪性リンパ腫に対する自家移植は2,669例、血縁からの骨髄移植312例、非血縁ドナーからは133例、allo-PBSCT(同種末梢血造血細胞移植)は117例に施行されています。現在の、移植適応は一般的に以下の様に考えられています。

【自家移植】 - 治療感受性を有する再発例, aggressive lymphomaにはIPI (international prognostic index: 文献2)のhigh/ high-intermediate risk.

【同種移植】 - GVL (graft versus lymphoma) 効果を期待して低悪性度リンパ腫の再発例, aggressive lymphomaの再発例。

表1

	自家移植	同種移植
症例数 (332例)	218	114
年齢 (中央値)	39歳	36歳
ホジキン病	34%	23%
Indolent NHL	28%	40%
Aggressive NHL	29%	31%
その他	9%	6%
診断後の年数	3.2年	2.6年
移植までの日数	655日	471日
骨髄浸潤	18%	41%
治療抵抗性再発	28%	40%
TBIによる前処置実施	29%	47%
PBSCT実施	79%	43%
5年OS	29%	34%
死亡原因	原病(68%)	副作用(75%)
5年再発率	78%	39% $P < 0.001$

NHL: Non-Hodgkin's lymphoma

国際悪性リンパ腫会議(2002, Lugano, スイス:表1, 文献3)で多数例の長期の移植成績が明らかにされました。注目すべきは以下の2点です。同種移植は自家移植に比べて GVL効果が高いが(自家の再発率78%, 同種は39%。有意差あり), 移植副作用が多い(同種で死亡原因の75%)。5年OS (overall survival: 生存率)は自家が29%で同種が34%と有意差はみられません。したがって、まだ議論は多いところですが自家, 同種移植間での生存率の有意差はないようです。

次に、悪性リンパ腫病型別のIBMTR(国際骨髄移植登録: 図1-4)の成績を紹介いたします。ろ胞性リンパ腫の自家移植成績(図1)を3年生存率で比較すると初回寛解(CR1)81%, 第2寛解(CR2)71%, 再発時66%となっています。図2の同種移植では3年生存率が60%, 移植関連死亡が多いけれど3年以後の再発が少ないのが特徴です。図3はdiffuse large B細胞型3,676人の自家移植です。3年生存率がCR1で68%, CR2で53%, never in remission 49%, relapse40%です。自家移植の失敗例はほとんどが再発です。図4は同種移植の326人です。3年生存率がCR1:46%, relapse:32%, never in remission24%と移植後3年経過すると、ろ胞性リンパ腫と同様に再発例は少なくなります。

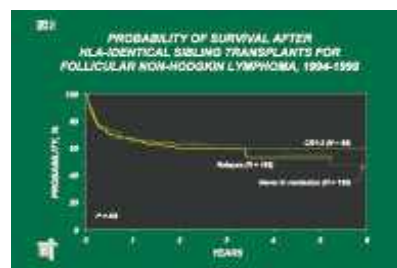
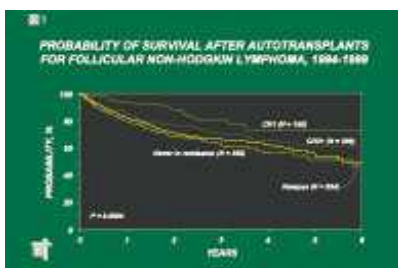


図1

図2

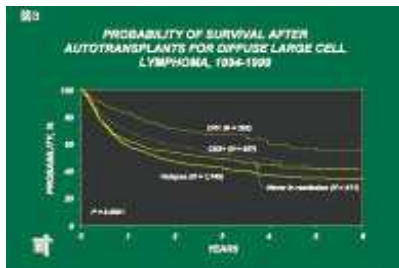


図3

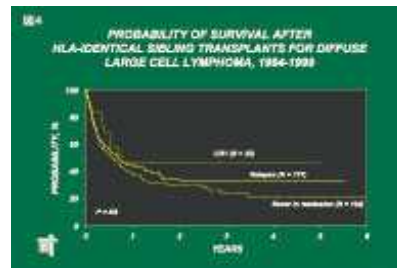


図4

今後の展望: 国内外でこれ程の移植が施行されているのにまだ、移植についての議論が多いのは悪性リンパ腫の疾患多様性によるものでしょう。Aggressive lymphomaは極めて多様な疾患群から成り立っており、今後は対象群を病理学のみならず、分子生物学的な観点から層別化してからの臨床研究が必要となるでしょう。最も、新しい試みはDNAマイクロアレイを用いたgene expression profileによる層別化で、注目を集めている領域です(文献4)。

御質問は次のアドレスまで

E-mail : SCT@jiaikai.or.jp

次回は どこが違う？(7)

化学療法と同種移植(悪性リンパ腫-2)

文 献

1. 日本造血細胞移植学会全国データ集計事務局 平成14年度 全国調査報告書 2002年10月, P.27
2. Shipp MA et al. A predictive model for Non-Hodgkin's lymphoma. N Engl J Med 1993. 329:987-994.
3. 8th International conference on malignant lymphoma, 12-15 June 2002, Lugano, Switzerland.
4. Shipp MA et al. Diffuse large B cell lymphoma outcome prediction by gene-expression profiling and supervised matching learning. Nat Med 2002, 8: 68.